

「近況

どおおおおも、ドオルでえす。こんばんはア。

ひひ。ふふ。ふっへっへ。本日はお日柄もよく、

僕は相変わらず日光に弱いので、引きこもりバンザイバケーションです。

貴方はいかがお過ごしですか？ 最近、何か楽しいことありましたか？

ぜひ聞かせてください。貴方の近況、リアルライフ。

お話を聞いているだけで、耳も脳ミソも幸せになりますから。

……ふむ、ふむ。……んん、貴方も大変なんですね。

でもその、大変とか忙しいとかって、まさに生きてるって感じしますよね。

喜怒哀楽が揺れ動いたり、そういうのがまさに人生だ、って、

それが幸せだっていうのは、僕、貴方に教えてもらいましたからっ。えへへ。

こういうお話を聞けば、貴方も、この通話の向こう側で生きてるんだって、

改めてそう思います。なんか、どうもアレですよ。ネットの会話って、

まるでお相手がbotか何かみたいに、システムで動いている存在なんじゃないか、

って思う時ありません？ ないですかね、すみません。

つぶやいたーをやっていると、特にそう感じるんですよ。こころないリップも、

励ますリップも、ぜんぶ画面上にしか存在しないような、でもそれって、

画面の向こう側で、ひとが打ち込んでる言葉なんですよね。不思議です……。

貴方と出会ったのは……つぶやいたーでしたけど、どうしてかな、

貴方との文字のやり取りは、なぜだか生きた心地がしました。

だからこそ、こうして通話するにまで至ったわけですが……何なんでしょう。

こればかりは、言葉で表現できない感覚です。……こ、恋ですかね。

恋がそれに値するんですかね。あははは。ハズカシハズカシ。

……ふえ。僕ですか？

んん、と……そうだ、お習字なんですけど、実は書道教室に通い始めました。

勢いで始めたやつなので心配でしたけど、いざ熱中してみるとすごく楽しくて、

なんだろ、こう、中学時代の陸上部を思い出すくらい打ち込めてます。

あなたへの……ら、ラブを伝えるために、僕の血潮を墨にまぜまぜしてます。

……あいや、例えです例え。直喩？ 隠喩？ みたいなやつです。

……、そうですね。

あの頃は……今よりずっとダークドオルでしたけど、陸上へのやる気だけは、

他の子たちよりもツ、負けない気でいましたッ。

たとえ、毎日参加してるのに幽霊部員と呼ばれようとも。

っていうか、好きなんですよ。汗をかいたり、疲れたり、そういう、

生きてるんだっていう、熱？ を感じられるから。

……たぶん、いじめられてたのはそのウザい向上心のせいかもしれませんが。

でもなんかあ、あれじゃないですか？

努力してるのに、それを疎むひとっていますよね。何なんですかね。

自分でも頑張ればいいだけののに、それを放棄して、

頑張ってるひとを攻撃するんですよ。理不尽にも程があります。

僕のようなゴミカスを生み出してしまふのが「いじめ」だっていうなら、

今すぐ全世界で、もっと厳しく取り締まるべきです。

第二第三のドオルが生まれてからじゃ、もう遅いんですよ……地獄です。

あ……でも、貴方のようなひとと第二第三がいるなら、

きっとこの世界は、やさしさと慈愛で満ち溢れてるってことかな？

ひとは、悪意より善意が上回ってるんです。このまえ漫画で読みました。

僕も同感です。善意のほうが強いです。僕も今……幸せですから。

……えあ、そ、そう……ですか？ そんなに？ 僕が？ ポジティブ？

ポジティブシンキング？

まっさかあー！ 僕がポジティブだなんて、そんなの、ハルマゲドンですよ。

世界崩壊ですよ。天の火です。ドウゴーン。

あ、はいすみません。そうですね……うん、僕はポジティブなんだ、って、

ポジティブにそう思うようにします。確かに僕、無自覚ポジティブだったかな。

書道教室に通い始めたのも、ちよっと前までならありえないことでしたし。

今なら、なんでも出来る気がしないでもないかも。

そうだ、ジムにでも通おうかしら。最近ちよっとあの、チョコを食べすぎて。

お腹が気になる……じゃなくてツ、えと、筋肉つけようかな……っ！

え、いや、ムキムキになるつもりはないですよッ。どんなイメージなんですか。筋トレってそんな、極端なものじゃないんですよッ。

あんまり身体力チカチになったら、貴方に抱きしめられたとき引かれちゃう、………じゃなくてッ！ ああダメだ今日の僕は失言が多すぎるもう死のう、いや死なない、死にません、それも失言。死にたいとか殺してとか、不穏なこと言わないようにしてるんです。死にたがりを見せてしまうことが、どれだけウザいことか僕は知ってますから。僕がいちばんよく知ってます。自分自身を反面教師にして頑張ってますけど、やっぱり癖って抜けないんです。あッ。でもね？ 僕も貴方の癖、いろいろと見抜いちゃってるんですよ。

見抜いちゃってるというか、見慣れちゃったというか。
え、気になりますか？ 気になっちゃう？ ふっふっふっふううッ

言うわけありませんよう。ナーイシヨ！

それを教えちゃったら、対策されちゃうもん。だからナイシヨですッ

えへへ、悪い意味じゃなくて、可愛いなあとか、そういうなんか、トキメキみたいなものをですね、えへへ、感じちゃうやつですから。ご安心を。むふふ。意外と気づかないものでしょう？ きつと誰にでもあるものなんですよ。癖とは違うかもだけど、僕なんかすぐ顔が赤くなっちゃうんです。赤面症です。自分はそれをイヤだ、って思ってたんですけど、貴方は……可愛いね、って、言ってくれるじゃないですか。だから、克服しました。

今では存分に顔を赤らめています。林檎の如く。いや意味不明ですね。とにかくね、癖っていうのはそのひとの象徴みたいな、

別に、無理に変えなくてもいいと思うんです。そのままの貴方でいてください。僕も！ 僕のままでいます。いつまでもドルはドルです。

お話していない時でも、ずーっと、貴方のそばにいますからッ。

……、……恥ずかしいこと言ってますね僕。顔熱いです。赤いですよね。

でも隠しません。この赤面を含めて、僕ですから。

貴方にしっかり見てもらいたい。

えへへへ。

冷汗

ハイドーもー！ わはっは、さっきジムから帰ってたんだけどね。めつつつっちゃ汗かいてきた。やっぱり気持ち良いねえ、ふふふ。なんか……なんかテンション高いよ今。

一年に一度あるかないかの、超絶ハイテンションタイムがキてる。なんでだろう。汗をかけばかくほど、ああ僕は人間だ、って思えるからかな。

ひっさびさに運動したから、全身ボコボコにされたみたいに痛いけど、でももうあれだ、うん、その痛さすらも気持ち良い……快感……。

あいや別にDMなわけじゃないよ！？

別に僕、全身痛くされて気持ち良くなっちゃうとかないから。痛いはいやだよ。ノーマル、ノーマルだよ、うん。

へ？ どしたの、なんか変？ ……、……そう？ ならいいけど。

あ、………んとなね、最寄り駅の、えっと、駅近の路地裏にあるジムだよ。ひっそりしてるところだから、あんまり目立たないで行けるかなって。

案の定、同級生とかとは会わずにたどり着いたし。もしジムなんかさ、僕が行つてるところ見られたら、色々ウワサされちゃうかもだから。

それこそ「筋肉ムキムキになってぶん殴りに来るんじゃないか」とか、

「姫神流空手・人喰いドル爆誕」とか、

そんな世紀末みたいなウワサされたらイヤだし。

僕もね、筋肉ついて妙に自信までついたら、本当にやっちゃいそうで怖い怖い。イキリオタクの体現者になってやろうかな、クフフ……、スカットジャポン。

……いや、やらないってそんなこと。どんだけ野蛮なの僕。脳筋すぎるでしょ。おらァ！ つって、同級生ぶん殴る僕なんて見たくないでしょーがッ。

ああそうそう、自信の話で思ったんだけど、

僕がいじめられるのは、まあ、クソウザいってのもあるんだろうけど、その、ウザさの根源ってなんだろうって考えたら、やっぱり自信のなさなのかなって。鏡を見たとき、最近考えるようになったんだ。

なにこの自信なさそうな顔……なんで常に困ったような顔してんだ……って。いつもいつもこんな顔して生きてんの？　って思った。

なんだろう、例えるなら、知らない街中でスマホの充電切れて、しかも道に迷って途方に暮れた人みたいな。

だからね、出来るだけ笑顔でいよう……って、うん、表情筋死んでるし多分。笑顔一分維持するだけでめちゃくちゃ頬痛いもん。顔面複雑骨折しそう。

でもでも、このままこんな死神みたいな顔で生活してたら、生きてんだか死んでんだか分かんないし、それじゃダメだと思って。

笑う練習して、家にいる時だけはな笑顔でいるようにしてるの。

ああでもさっきね、リビングでひとりでニコッとしてたら、

いきなりお姉ちゃんが来て、「うわッお化け屋敷ー」って言われた。ひどい。

ひどすぎる。なにお化け屋敷って。化け物ツとかお化けッ、なら分かるけど。

いや分かっちゃいけないけど、僕そのものがお化け屋敷なのかよ、

てかここあんたん家だろ……って言いそうになったよ。まったくもう。

……あ、うん、お姉ちゃんいるよ。僕に似てるから……ウザいよかなり。

うーうーん。僕的笑顔ってそんなに怖いのかな……？

あの、恥ずかしいけどちょっと見てほしい。いいかな。……ん、ありがとう。

じゃあ、するね。……見たらさ、ゲロ吐いてもいいけど引かないでね。

よし。ゲフゲフ。……ニコオオオオオ……♪

……ちょ、ちよつとッ。今若干引いたよね！？　見てたよッ見てたッ。

もおおつ。引かないでって言ったのにッ。もおッ。もおッ。

ていうか、ていうか、ていうか……。

アアアアアア僕ずっとタメ口だった！？　でした！？　今気づいたッ。

すみませんすみません慣れ慣れしくてッ。いやあの、馴れ馴れしくていい、

はずなんですけどッ、でも僕がタメ口って、生意気キングでクイーンで、

ジャックだからッ、ジョーカーですッ。ひゃー意味不明ッ。

うアアッ、消してください、記憶と存在と概念を消してくださいいいッ。

たぶん、えっと、ハイテンションすぎて、気づかなかったんですッ。

っていうかなんで言ってくれなかったんですかッ。あ、もしかしてまさか、

話始めに不思議そうな顔してたのって、そのせいだったんですか。

なんでもないよ！　って言ってたの、僕のこと、わざと泳がせてたんですか。

くうううッ……！　まんまと遊泳しちゃいましたよ。ううう。

僕は、所詮僕は、貴方の手のひらで泳がされるだけの人生……

……イイですねそれ。本望でもあります。……が、今回はオコです。

オコなんです。僕だってガチギレすることありますよ。……ほんとに。

例えばえーとえーとその。なんだろう。……あれ、僕、あんまり怒らない？

僕って、……怒ります？　ないですよね多分……。

なんか、僕なんかの分際で怒るなんて、おこがましいにも程があるような。

オオ……僕は……喜怒哀楽も満足に出来ないのか……？　人間未満なの……？

いや、いやいや、そうだ、チョコケーキ買った帰りに犬のうんち踏んだときは、

怒りましたよ。あれはオコですオコ。

ペットの排泄の後始末はしっかりしましょう！　僕だってそれくらい出来ます。

エツちゃんの世話だって、ママもお姉もやらないから、僕がひとりで……。

……え？　あ、言ってませんでしたっけ。うち、ヤモリを飼ってるんです。

そうです。ヤモリい。デヘ……腕に載せると、おててベタベタすんですよ。

爬虫類って……可愛くないですか……？　カエルとか、トカゲとか。

あのニョロロンとした手、ヒョロヒョロした尻尾、

目がギョロギョロしてて、なんか挙動不審なところが僕っぽくてアレですけど、

いや可愛いから僕なんかとは似ても似つかないけど、とにかく可愛い……。

うううなんであんなに可愛いんでしょう。可愛い、かわうい……。

……ブッ！　……だからッ、もうッ、貴方はああッ、すぐにそうやって、

カワイイカワイイ、ドオルモカワイイ！　なんてえッ、

今は爬虫類の話をしてるんですッ。僕は爬虫類じゃないで、す……いや、

もしかして僕、爬虫類なのかな……？　爬虫類にトキめいちゃう僕って、

そんな、そんな、僕は……自分を人間だと思い込んでるだけの……。

っておかしいやないかい！　そしたら貴方も爬虫類仲間になっちゃいます。

だって僕、貴方にだってトキめきまくってますから……。

……ヒョアアア！　まあた恥ずかしいこと言っちゃった！　言っちゃった！

ついでに地獄へ行っちゃおう。いや行かない。行きません。

行くなら貴方と天国に行きたい。50年後くらいに。……どですか？

ハネムーンに、ゴー・トゥ・ヘヴン。……あ、あ、あ、ちよ、僕、

何言ってるの、ハネムーンで、ハネムーンで、それ、結婚したあとの、

……うわああああッ違う違いますッ治外法権ンンンッ！！

ハチブーンって言ったんですッ。ハチブーン！

なんかどつかのバンドみたいな響きですけど、ハチがブンブンですッブンブンッ。

スズメバチはミツバチを襲うんです！ 知ってましたか！？

ああ、今日の僕はおかしい。いやいつもおかしいですけど、寝ますッ！

おやすやの時間ですもう。おやすや……！

3人形

あ、おはようございます。休日ですねえ、うれしいですねえ、ふふふ。

もうもう、朝っぱらから僕の顔見たいだなんて、ホラーマニアですか貴方はあ。

……によあッ。も、も〜！ また可愛いって！ 可愛いってえ！

その一言もらうたび、僕がどれだけ血を吐きそうになってるか分かります？

しんどいッ！ っとなるんですよ、まったく。

じく〜……そんなに可愛い言っちゃうお口、まさかまさかまさか、

周りののひともおろ、気軽に言ってるんじゃないでしょうねえ〜……。

絶対モテますよね。モテ杉モテ男ですよ。

だってやさしいし、相談とかすごい乗ってくれるし、……かつこいいし、

モテ要素だらけじゃないですか。じく〜……。

知りませんよう？ 好きとか愛を数値で見るとはできませんけど、

僕は大体、貴方の「1可愛い」ごとに「100好き」ぐらいなんですからね。

もう多分、一億好きくらいになってるんで、

それがどういことかお分かりですか。

貴方が例えば、クラスメイトの女の子と一緒に帰ったとします。

僕がそれを見たとします。もうヤバイです。

白目剥きながら奇声上げながら、身体中の穴という穴から血を嘔きながら、百獣の王の如くその子に駆け寄って……全力で土下座します。

僕のかれびつび奪わないでください〜〜〜！！ って……。

……ちよッ、鼻で笑った！ 今鼻で笑ったでしょ！

むきーっ！ 馬鹿にされたッ。馬鹿にされたあッ。かれびつび意地悪だあ〜！

うがああああッ、ドオルはもう、腐りますッ。腐乱ドオル再誕ですッ再誕ッ！

……へ？ ……ああ、由来ですか？ 言ってませんでしたっけ。

ほらあの、人形です。人形のドール。

苗字が姫神……で、名前が縫子だから、姫、で、縫い、で、

お姫様……縫う……「あ、なんか人形っぽいイメージ！」、みたいな。

……うわあなんかめちゃくちゃキモくないですか僕。

なにがお姫様だよって感じだ……。すっごいナルシストみたいな名前じゃん。

いえあの、なんとなくでつけて、そればかり名乗ってたから、

もう由来とかまったく気にしてませんでした。ひとつの概念と化しました。

……お、ア。

ハッ……。ちよつと待って。待ってください。

今すっごい恥ずかしいこと考えちゃいました。口に出したら黒歴史確定。

寝るとき思い出して脚バタバタしちゃうレベルのやつです。

ダメです言いません。言うわけにはいきません。人格が崩壊します。

貴方に裸を見られるレベルで恥ずかしいやつです。

いやいやいやいや何言ってるの僕。今の発言こそやべーやつだあああ……。こ、こらア。ニヤニヤしちゃダメ。忘れて。あれは忘れてくださいね、はは。

分かりました言います。でも貴方の反応次第では、喉を切り裂く覚悟です。

すうー……はあー……。

つまりですね。こういうことです。

僕はッ。ううッ。僕、僕はッ……、

僕は貴方の人形であり、貴方のお姫様でもあるんじゃないでしょうかッ！

オヒヨヒヨヒヨヒヨヒヨウヴオー……ッ！！

今世紀最大のノンフィクションデッドオブファイアあああああッ！

いやああああッ、生まれたことを後悔ッ！ 生きッ恥ジツドオル！
うああああー、うーあー、言っちゃった言っちゃった言っちゃった。

ああーどうしよ両目くり抜こうかなもう。無我の境地に達しそう。
ふうう……ふうう……落ち着け落ち着け、落ち着くんだ……。

まだ貴方の顔見てないですけど、でもでもでもでも、大体予想できます。
ニヤニヤしてますきつと。愛玩動物を見る目してますきつと。

うぎゅうう、しかし一度言ってしまったことは取り消せないッ……、
取り消せない、今の言葉ッ……！ 僕は時代の敗北者なんだッ……。

……ちらっ。ちらちらっ。……え？

え、あ、どうしました……？ なんで真顔……、……あのう……？

わっ、あ、だ、大丈夫です？ なんかその、上の空っぽいというか。

僕があまりにアレすぎて、ドン引き……しちゃいました？ ……違うの？

じゃあ、その……え、え？ あ、は、はいッ。すみません、分かりました。

それじゃ、夜にまた。……き、今日も一日、がんばりましょ♪

未来

ガチガチガチガチ……、こ、こんばんは。どうも。どうもドオルです……。

いやあ夜はほんと、冷えますねえ……。僕の部屋、氷河期みたいになってます。

まあ僕の存在自体がね、クソ寒ギャグみたいなもんなので、

むしろ僕が冷凍機ですよ。恐竜の絶滅の原因はきっと前世のドオルです……。

ああ僕、厚着が苦手なんですよ。なるだけ肌を出したい……あ、あ、

違いますよ変な意味じゃなくて、ほら汗っかきなんです。ええ。

どうでもいいですけど、寒い部屋で薄着で毛布くるまって寝るの、

めっちゃ最高じゃないですか？ くるまった瞬間オヒュー〜ってなって、

ムヒユルへへ〜みたいな変な笑い声出ちゃいませんか？ 僕だけ？

……んう？ どーしました？ あれ、なんか顔色……悪くないですか？

僕みたいになってませんか……？ え、ほんと大丈夫？ 風邪かなっ……？

……んん。どうしたの？ 今朝も……ちよっと、具合悪そうだったし。

なんか……元気……ないです。

やなことでもありました？ あ、犬のうんち踏んじやいました？

ってそれは僕でしょッ！ ……、……あの、ほんと、悩みとかツラミとか、

あるんだっただけ言ってください。僕、力になります。

微妙すぎる微力ですけど、それでも、貴方の力になりたいから。

……いつも、いつも……助けてもらってます。覚えがないとは言わせません。

貴方にどれだけ助けられて、どれだけ救われたか。

明日世界が終わったって、僕の中で貴方は終わらないんですよ。

それぐらい僕は……貴方を、……。

ん、はい。大丈夫です。人生相談でも進路相談でも、なんでも言ってください。

……え、あ、ほんとにそういう相談ですか。はい。

……ええ、そうですね。僕たち、そろそろ高校卒業ですよ。

どういう道に進むべきか、迷ってるんですか？ ふむふむ。

僕は一応、進学します。はい。

これを進学の原因って言ったら、周りで頑張ってるひとに失礼かもですけど、

やりたいことが見つかってないから……だったたりして。

うん。なんかこう、僕だけかもしれないけど、いつも漠然と生きてて、

将来何になろうとか、どういう仕事につこうっていうの、ないんです。

実は、最近の僕はそれを探してます。

お習字したりジム通ったり、っていうのも、その目的があつたりなかったり。

経験したことない経験は、また新しいものが見えたりしないかなって。

まあ、それもだいぶ漠然としてますけどね。

……僕ね、貴方と出会うまでは、無意識に何かを「待ってた」んだと思う。

ゼーんぶ受け身です。いじめも何も、僕はいつも受けてばかりで、

誰にも……与えようとか、まったくしてきませんでした。

柵から牡丹餅とか、果報は寝て待て、って言うじゃないですか。

貴方との日々を過ごしてるうちに、気づきました。

牡丹餅も果報も、努力や、一歩前に踏み出す……勇氣、みたいなもの、

それを実践してるひとにしか来ないんだ、って。

貴方とネットで知り合って、……通話っていう、初めてを頑張ったのも、いや、あれは僕の気まぐれなのかな……、でも、今までしたことないことを、しよう、って踏み切ったとき、世界にね、一歩近づけた気がしました。……大げさですかね。でも、僕の中では……とつてもすごい事でした。

通話をしなかったら、貴方とも……きつと恋人になれなかったもん。やろう、しよう、っていう勇氣は……僕に、幸福をくれました。

それを初めて僕に教えてくれたのは、貴方ですよ？

貴方は僕より先に、それを持ってたんです。だからきつと大丈夫です。

しかもつ、ひとりじゃないですッ。僕がいますッ。

僕、ずううーっ……と貴方と一緒にいます。いますよ。

永遠にいますッ。フォーエバーですッ。

……はいっ♪ よかった、笑ってくれた。えへへ。

もー、大丈夫ですって。迷惑なんて言ったら、

僕なんか貴方の一億倍は迷惑かけてますからね。お気になさらずっ。

ほら……貴方と僕は、今はきつと、すぐく遠いところにいるけど。

でも、時計は一秒ずつ過ぎてますよ。同じ時間を生きてるってことです。

それだけは絶対に、絶対に間違えない事実ですから。

僕たち、一緒なんです。僕は生きてます。貴方も生きてます。

だからね、だから……、……あれ、あれ？ あは、あはは、なんだろ、

どうして涙が。ああ、ああ、あれですかね、柄にもないこと言いすぎて、

脳ミソオーバーヒートしちゃいましたかね、冷凍機能発動しちゃいましたね。

うう、う、……いえあの、スママセン、僕、僕、貴方はいつも、その、

強いひとだと思ってたから、貴方も、ええとその、弱いところもあるんだ、

って、うう、でもこれ、これは、嫌な涙じゃないです。ほんと、違います。

いじめられたときの涙とは全然ちが……う、うッうう、ああッ……グスッ、

ああッ……ああああ……。ごめんなさい、ごめんなさい……。

はあ……はあ……はあ……、……。

……僕、変わらなきゃって、貴方に追いつかなきゃって、躍起になってました。でなきゃ、貴方がどんどん遠くにいって、

霧みたいに消えちゃうんじゃないかって、変なこと考えたんです。心配性……です。でも、貴方も僕と同じ、苦悩や葛藤を抱えてるんだって、そう思えたから、しかも貴方はその弱味を、僕に見せてくれたから、

なんか……安心、しちゃった。

僕、貴方と一緒にいていいんですよ。彼女で、恋人で、パートナーで、

いいんですよ……。うう、ああ……。

……ありがとう。

そればかりというか、それしか言えないけど、ありがとう。

好き。……大好きだよ。愛してるし、もっと愛したいし、愛してほしい。

僕のこと、もっとたくさん、たくさん……好きになって。

僕も貴方のこと、たくさんたくさん、好きになるよ。

だってまだまだ、貴方の知らないところ……数え切れないくらいあるもん。

僕は、ドオルっていうもうひとつの顔で、貴方と知り合いました。

今度は、……縫子、姫神縫子を、知っていつてほしいです。

これから、どうか……ふ、ふつつか者ですが、宜しくお願いいたしますッ！

い約束

……ど、どうも。

うう、う、昨日の僕、思い出すだけで脳ミソぶちまけそうです。

柄にもないどころじゃない。なんというかその、ひゅううッ……、

偉そうなことばかり言っでごめんなし……。

いやあそのおッ、分かってます、分かってるんですけど、でもやっぱり、

謝っちゃいますよ。僕の本能が謝罪を絞り出してくるんですう。

んもおお、無理をしました。

おや、貴方も随分とアレですね。アレ。ああ、肝心なときに言葉が出ない僕。

変わってんだか変わってないんだか。

あ、そんな、貴方まで謝らなくていいんですよ。元気出して。ふぁいとっ♪ 昨日をなぞっちゃうようなこと言いますけど、

僕が落ち込んだときは、貴方に支えられています。

貴方が落ち込んだりしたとき、そこは僕の出番ですっ。

ほらよく学校で習いませんか？ 人っていう字は、二人が支え合って、みたいなの。あれですよあれ。

爬虫類とか色々ありましたけど、やっぱり僕はひとですから。タブン。

精一杯、支えさせていただきますッ。

あっ、僕じゃ頼りないですか？ ウムム……口で言うより行動で示そう。

ふっふーん！ ならばッ、ひとつだけお願いを聞いて差し上げましょう！

本日は特別デーです。僕が貴方の願望を叶えちゃうデーです。

口から火い吹けとか、手から電撃出せとか、何でもいいですかほんと。

貴方の為なら、僕に不可能はございませぬ。何だってやりますよオ。

………ほあ。

今、なんと。

え。ちよつと、え。ちよつと、ちよつとちよつと。

ちよつと待つて今のがもし僕の聞き間違いだったら、未来永劫、

赤林檎として生きていかなきゃいけません。お顔真っ赤っか。なので。

もう一度、お願いいたします。はい。

……はい。はい。ええと、あの、分析に時間を要します。ので。

えー、えーつまり。えー。ケッコン、ですね。血の跡じゃなくて、それは、

結ぶ、婚姻のほうですよ。そうですね。

え、あの、それ、つて、ハネムーンですか。ハチブーンじゃなくて、

ハネムーンのやつですか。

あ、あ、あ。

ああッああ、あ、あ、ど、どうしよ、まさかそんな、ちよつと、あの、

つまり、きゅ、求婚、ですか。ぷろぽーず、ですか。それは。

あああどうしよッどうしよッどうしよおッ！ ああッあ、うれしッ、

うれしいけど、はずかし、こわいッ、しんどいッ、しあわせッ、つらいッ、

うゲホッゲホッ！ ガハッ、けほッ、けほッ……うううッ、

超、超超超超×無限大ッ、うれしい、よ、それは、うんッ……。

え、あ、ま、まって、お返事する、するから、お返事させて、僕も、僕、も、貴方と……けっけっけっけ、結婚、したい。

したいッ、したいッ、するッ！ しませッ！ しませッ！

ふああああ、なに、もう、これ夢だったらどうする？ いや、なんか、

そういう夢、何度も見たような気がする。でもこれは、現実、現実なの。

……いぎぎッ、ほっぺたいたいッ！ うわあ現実だこれ現実だリアルだ。

な、んか、まだ、信じられない感が強すぎますけど、……あ、貴方……、

顔、真ッ赤ですよ。完全に赤林檎だ……、つてもおおおッ。

なんで言った側がそんなに照れてんですかッ。可愛いなあもおおッ！

いつも言われっぱなしだからッ、今日は言ってやりますッ。可愛いッ可愛いッ。

好きすぎて愛しすぎて可愛すぎるんですう貴方はッ！ うがーッ！

ふーッ、ふーッ……。ああヤバ、胸がドキドキ、ドキがムネムネ、はあ、はあ、

心臓が鍛えられる、ふうッ、ふうッ、今こそ……ドオル・クウル。

スウウ……ハアア……。

……貴方の願いが、貴方の本気なら、僕もまったく同じです。

貴方と出会った頃、叶わない夢だっと思って思いながら、こっそり……、

胸の奥にしまってた願いでした。

本人も開けられないくらい、たくさん鍵掛けたはずなのに、

貴方のたった一言で、それ、開けられちゃいましたね……。えへへへ。

……はい♪ とつても幸せな気持ちです。貴方は……？ ……そっか♪

うん。死にたいとかいう感情は、いつの間にか消えました。

んんん……ふはあッ！

なんだか、長い長い時間を……この瞬間の為に生きてきたような気がするなあ。

ンン、まーた大げさなこと言ってますかね、僕。あはは。

……なんか、不思議なんです。

幸せなのに、嬉しいのに、ちよつとだけ……寂しい気持ちもあったりして。

……えっ、貴方ですか？ わあ、ほんと不思議ですね。

ん、そう。この通話が終わったら、貴方と離れ離れになってしまうような、

そんな変な感じがする。ふふッ、いつも同じことしてるのにね。

大丈夫です。僕はここにいます。ここにいて、貴方のそばにもいるんです。いつまでだって、居続けるんですよ。

貴方も、そうしてください。いつまでも、僕のそばに居続けてください。ドオルと、縫子との……永遠の約束、ですっ♪

(終)